

解答 ► P.16

	完成図のような文書を作成	しましょう。
File OPEN	フォルダー「実習データ」の文書	書「Lesson13」
●完成図		
H	と震に備え	3
地識 災害 突然	が起こったとき、どう対処すればよいのか。 に「予告」はありません。 の災害に困らないための「備え」の大切さを考えてみま	ປະວ້.
~いざという	うときのために~	
レム 検避離場所の レム 日ごろから家 火の手がおよびくく 避難場所に避難しま	確認 庭や離場の近くの「広域避難場所」を確認しておきまし 小場所が指定されています。周囲から火の手が迫ってき す。	ょう。広城避難場所には、 た場合は、あわてずに広城
レビン 単所の確認 「避難所」も が途絶して自宅で生」 必需品の支給を受け	確認しておきましょう。家が倒壊した場合や電気・ガス 舌できない場合などは、避難所に避難します。ここでは. ることができます。	・水道などのライフライン 、生活に必要な食糧や生活
 	例の防止 出入り口付近、廊下、階段などに家具や物を置かないよ うな危険のある家具や家電は、転倒防止器具などで固定 準備	~地震が
ナー ライフライン そのほかにも、家族	の途絶に備えて、家庭内に「水」「寅糧」「燃料」など最低 に関する覚え書きや預貯金の控えなども準備しておくと	身の ^{安全の} テーブ, 注意しながらう
/」、水の重要性は る可能性は十分にあ せん。生活用水のた も意外と彼立ちます。	いうまでもありません。大地震などの災害が起こったと、 ります。意外に固るのが生活用水です。洗濯や炊事、水 わに、日ごろから風呂のお湯は抜かないで貯めておくと 、飲料水には通じていなくても、生活用水として利用す。 コハキュテモ連邦」でやますし、^^	火 の始末 火の始 で、揺れの大き 近所と協力して
っこうのワまり。周 また、水を運ぶため	ロッテアービ理師ししやさましまう。 のポリタンク・キャリアなどを用意しておくと重宝しま	月 紀 出口の話 建物の豆 確保しましょう
		家 具から前 本棚や1 感じたら、すぐ
	[1]	ガッスの

ータ」の文書「Lesson13」を開いておきましょう。

~地震が発生したら~

身の安全の確保 テーブルや机の下に隠れ、落下物などから身を守りましょう。揺れがおさまったあと、落下物に 注意しながら外に出ましょう。

・ 火の始末は、火災を防ぐ重要なポイントです。タイミングを間違えるとケガをする恐れもあるの で、揺れの大きさを判断して火の始末をしましょう。もし火災が起こったら、大声で近隣に知らせ、隣 近所と協力して消火にあたりましょう。初期消火が、二次災害を防ぐ重要なポイントです。

112 出口の確保 建物の至みや銅錬によって、出入り口が開かなくなる場合があります。扉や窓を開けて脱出口を 確保しましょう。

「デー具から離れる 本棚や資器標などが倒れて大ケガをするばかりか身動きがとれなくなる恐れがあります。揺れを 感じたら、すぐに家具から離れましょう。

プ ウスの破片に注意 地震が発生したあと、最も多いケガはガラスの破片などによる切り傷です。はだしで歩き回らず

にスリッパなどをはくようにしましょう。 - 急救護の実施

レンジン ケガ人が出た場合は、助けを呼び、隣近所で協力しあって広急救護を行いましょう。また、普段 から隣近所との協力体制を作っておくことも大切です。

しい情報の収集 テレビやラジオ、パソコン、携帯電話などで正しい情報を収集しましょう。

~市の防災対策について~

数金譜習の実施 救命講習に参加してみません か? 地濃などの災害時に役立 つ教命方法を学びます。 毎月第2土曜日 第3金曜日 13:00~15:00	指防団の応援 安心・安全な地域づくりに貢献 する消防団を応援します。今年 度から交付金制度がスタート しました。	ハ <u>ザードマップの交付</u> 町村ごとに土砂災害の危険箇 所、避難場所などを掲載したハ ザードマップ(防災地図)を交 付しています。
13:00~15:00		

お問い合わせ 青葉市消防局防災危機管理室 077-555-XXXX

[2]

Word 2013

基礎

「~いざというときのために~」	に、次の書式を設定しま	しょう。	
フォントサイズ : 18ポイン 太字 文字の効果 : 塗りつぶし 文字の反射 : 反射なし 段落前の間隔 : 1行	ト ノ(グラデーション)-青、アク [・]	セント1、反射	
Hint 段落前の間隔を変更する	こは、《ページレイアウト》タブ	「→《段落》グループを使います。	第
①で設定した書式を、「~地震」 しましょう。	が発生したら~」と「~市の	の防災対策について〜」にコピー	第
Hinf 複数の範囲に連続して書 リックします。	式をコピーするには、 💽 (音	書式のコピー/貼り付け) をダブルク	第
次の段落の先頭文字にドロッ する行数は「2」、本文からの距	プキャップを設定しまし、 離は「1mm」にします。	ょう。本文内に表示し、ドロップ	第
広域避難場所の確認 避難所の確認	水の準備 身の安全の確保	家具から離れる	笌
家具や家電の転倒の防止 非常用備蓄品の準備	火の始末 脱出口の確保	応急救護の実施 正しい情報の収集	笋
「~地震が発生したら~」の行う	が2ページ日の失商にか	えょうに みページを挿入しま	5
しょう。			勞
「救命講習の実施」から「…ハサ を3段組みにしましょう。	ザードマップ(防災地図)を	を交付しています。」までの文章	第
また、段の間に境界線を設定し	しましょう。		笌
Hint 段の間の境界線は、《ペー 加または削除)→《段組み	-ジレイアウト》タブ→《ページ ・の詳細設定》を使います。	Ÿ設定》グループの <u> ≡ ፼組み▼</u> (段の追	祭
「消防団の応援」の行が2段目 になるように、段区切りを挿入	の先頭に、「ハザードマッ しましょう。	プの交付」の行が3段目の先頭	#
ページの下部に「[1]」と表示	される「かっこ1」のページ	ジ番号を追加しましょう。	<u>ظې</u>
	 「~いざというときのために~」 フォントサイズ : 18ポイン 太字 文字の反射 : 反射なし 段落前の間隔 : 1行 ● 使活 段落前の間隔を変更する ①で設定した書式を、「~地震しましょう。 ● 使活 複数の範囲に連続して書 リックします。 ● 使活 複数の範囲に連続して書 リックします。 ○ た域避難場所の確認 避難所の確認 家具や家電の転倒の防止 非常用備蓄品の準備 「~地震が発生したら~」の行だしょう。 「救命講習の実施」から「…ハギ を3段組みにしましょう。 ● 「前 段の間の境界線は、《ペー 加または削除)→《段組み 「消防団の応援」の行が2段目 になるように、段区切りを挿入 	「~いざというときのために~」に、次の書式を設定しま フォントサイズ : 18ポイント 太字 文字の効果 : 塗りつぶし(グラデーション)-青、アク 文字の反射 : 反射なし 段落前の間隔 : 1行 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」と「~市な しましょう。 ①で設定した書式を、「~地震が発生したら~」。 ⑦、の段落の先頭文字にドロップキャップを設定しましよ 「なの段落の先頭文字にドロップキャップを設定しましよ 「なの段落の先頭文字にドロップキャップを設定しましよ 「1111] 本文からの距離は「11mm」にします。 ②(121) 本文からの距離は「11mm」にします。 ②(121) 本文からの距離は「11mm」にします。 ③(121) 「なの業間の防止 火の始末 非常用備蓄品の準備 脱出口の確保 『こっ 「なの講習の実施」から「…ハザードマップ(防災地図)系 を3段組みにしましよう。 また、段の間に境界線を設定しましょう。 また、段の間に境界線を設定しましょう。 「消防団の応援」の行が2段目の先頭に、「ハザードマップ になるように、段区切りを挿入しましょう。	 「へいざというときのために〜」に、次の書式を設定しましょう。 フォントサイズ : 18ボイント 光字 文字の効果 : 塗りつぶし (グラデーション)・青、アクセント1、反射 文字の反射 : 反射なし 没落前の間隔を変更するには、(ページレイアウト)タブ→(段落)グルーブを使います。 ①で設定した書式を、「〜地震が発生したら〜」と「〜市の防災対策について〜」にコピー しましょう。

まとめ

第8章